

2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

東京証券取引所市場第一部 : 4641

第2創業期

人が未来-Next Technology Frontier®

 **Alps** 株式会社 アルプス技研

■ 当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、在宅勤務、オフピーク通勤やTV会議、オンライン研修の活用など、お客様、従業員の安全に配慮し、事業の継続に向けて対策を推進しております。

1. お客様の要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた就業スタイルへ柔軟に対応
- 2) オンライン営業・商談の推進
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用を徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) TV会議やスタジオを活用したオンライン研修と、オンライン採用の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

■ 目次

1	2021年第2四半期決算概況.....	P4
2	グループ会社、関連会社のご紹介.....	P11
3	2021年度 施策.....	P14
4	2021年度 業績予想.....	P17
5	2021年度 配当予想.....	P18
6	新中期経営計画.....	P19
7	サステナビリティ・ESG.....	P22

■ 外部環境

- ・ワクチン接種による経済活動の正常化が進む
- ・オリンピックを挟み第5波への懸念に注意が必要

製造業界

輸出動向

- ・欧米、アジア向けともに回復
- ・アジアは半導体関連、欧米は自動車等の輸出が好調

業界動向

- ・半導体：5G需要拡大
- ・自動車：感染再拡大による部品供給網への影響に注意が必要

人材業界

派遣要請

- ・需要は底堅く推移
- ・在宅形式の派遣は継続

人材獲得競争

- ・オンライン等新たな採用手法が定着
- ・メーカー採用の復調により競争激化

■ 2021年第2四半期 概要 -1-

- ・連結 稼働率は堅調に回復。工数も上昇傾向
- ・個別 利益差異の主因は雇用調整助成金

(単位：百万円)

【連結】	2020年12月期 第2四半期	2021年12月期 第2四半期	増減率
売上高	17,483	18,770	7.4%
営業利益	1,785	1,732	△3.0%
経常利益	2,139	2,314	8.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,426	1,552	8.8%

【個別】	2020年12月期 第2四半期	2021年12月期 第2四半期	増減率
売上高	14,896	15,107	1.4%
営業利益	1,663	1,604	△3.6%
経常利益	2,036	2,248	10.4%
四半期純利益	1,418	1,574	11.0%

■ 2021年第2四半期 概要 -2-

- ・売上高は前年同期比7.4%増
- ・四半期純利益は前年同期比8.8%増

【連結】	2020年12月期 第2四半期	2021年12月期 第2四半期	増減率
売上高	17,483	18,770	7.4%
売上原価	13,274	14,555	9.6%
売上総利益	4,209	4,214	0.1%
販管費	2,423	2,482	2.4%
売上高販管費率	13.86%	13.22%	△ 0.6%
営業利益	1,785	1,732	△ 3.0%
売上高営業利益率	10.21%	9.23%	△ 1.0%
営業外収益	390	605	55.1%
営業外費用	36	22	△ 36.5%
経常利益	2,139	2,314	8.2%
特別利益	100	0	△ 100.0%
特別損失	79	0	△ 99.7%
税引前四半期純利益	2,160	2,314	7.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,426	1,552	8.8%
売上高四半期純利益率	8.16%	8.27%	0.11%

(単位:百万円)

売上原価

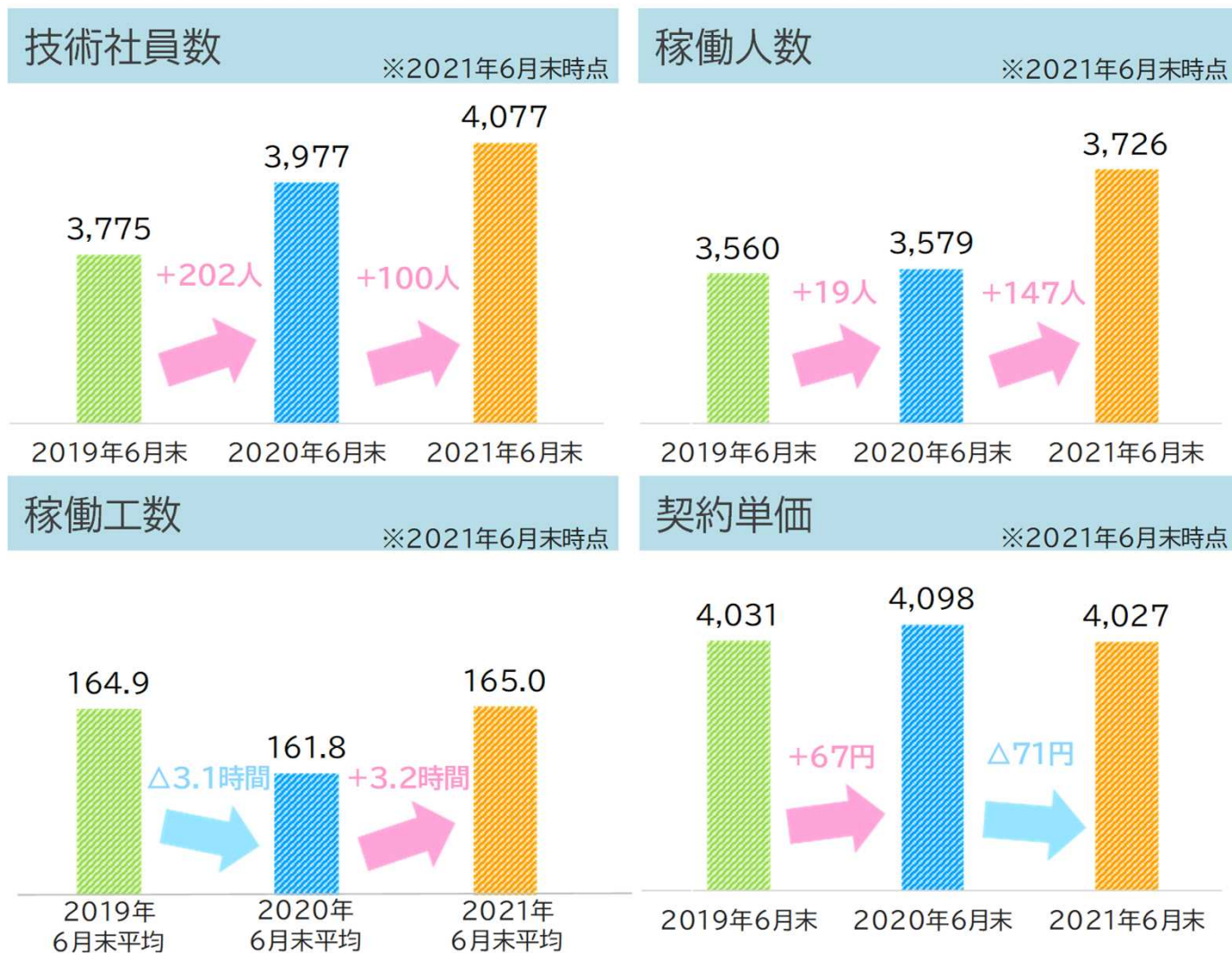
- ・技術者数の増加
- ・営業外収益に計上された雇用調整助成金を活用し社員の処遇を守ったため

四半期純利益

- ・売上の拡大と販管費抑制
- ・雇用調整助成金の増大
- ・保有有価証券の減損解消

■ 2021年第2四半期 概要 -3-

・残業抑制の動きが縮小し、工数はコロナ前と同水準へ

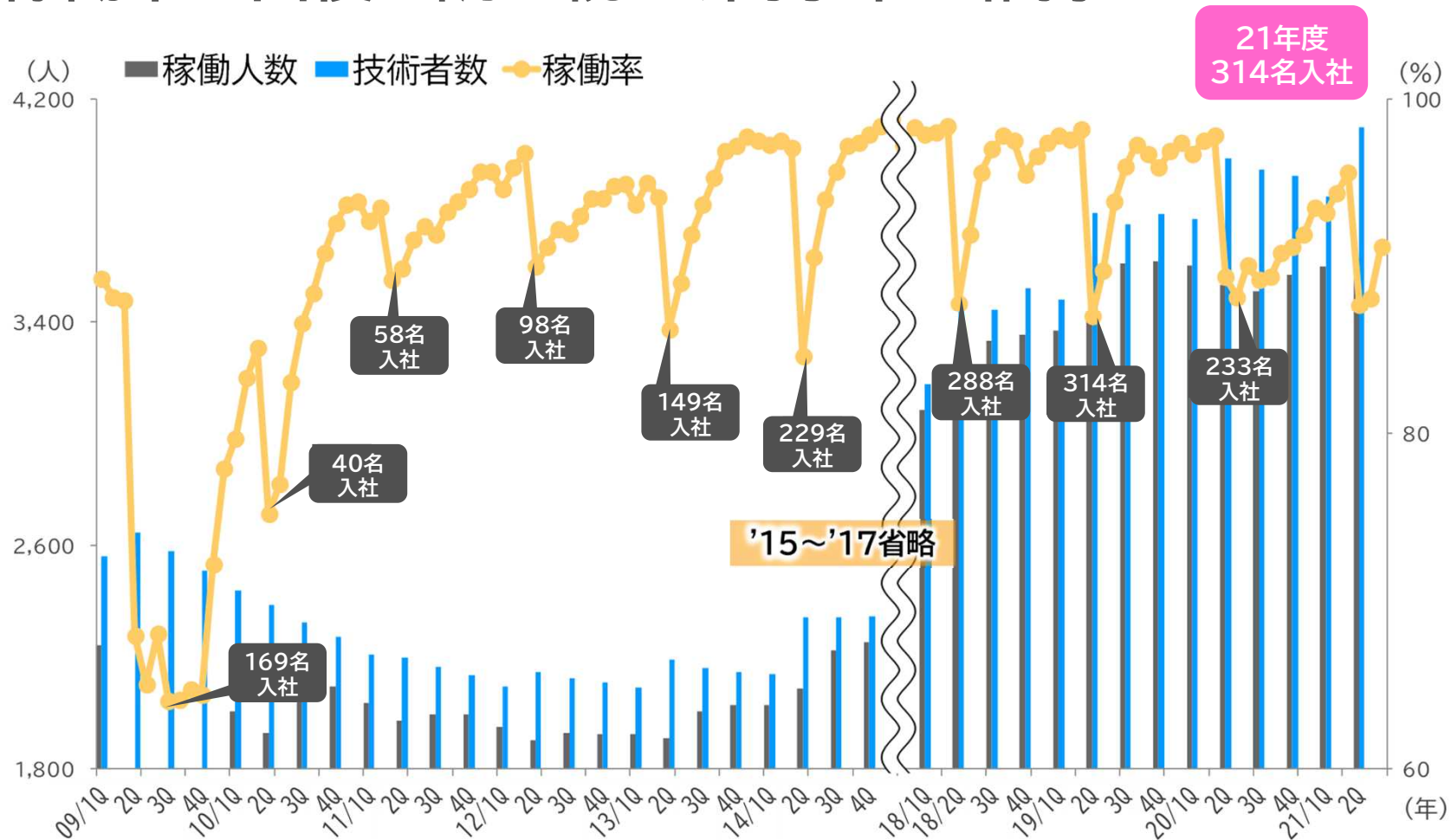


※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」とは異なり、残業代を含まない。

※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

■ 2021年第2四半期 概要 -4-

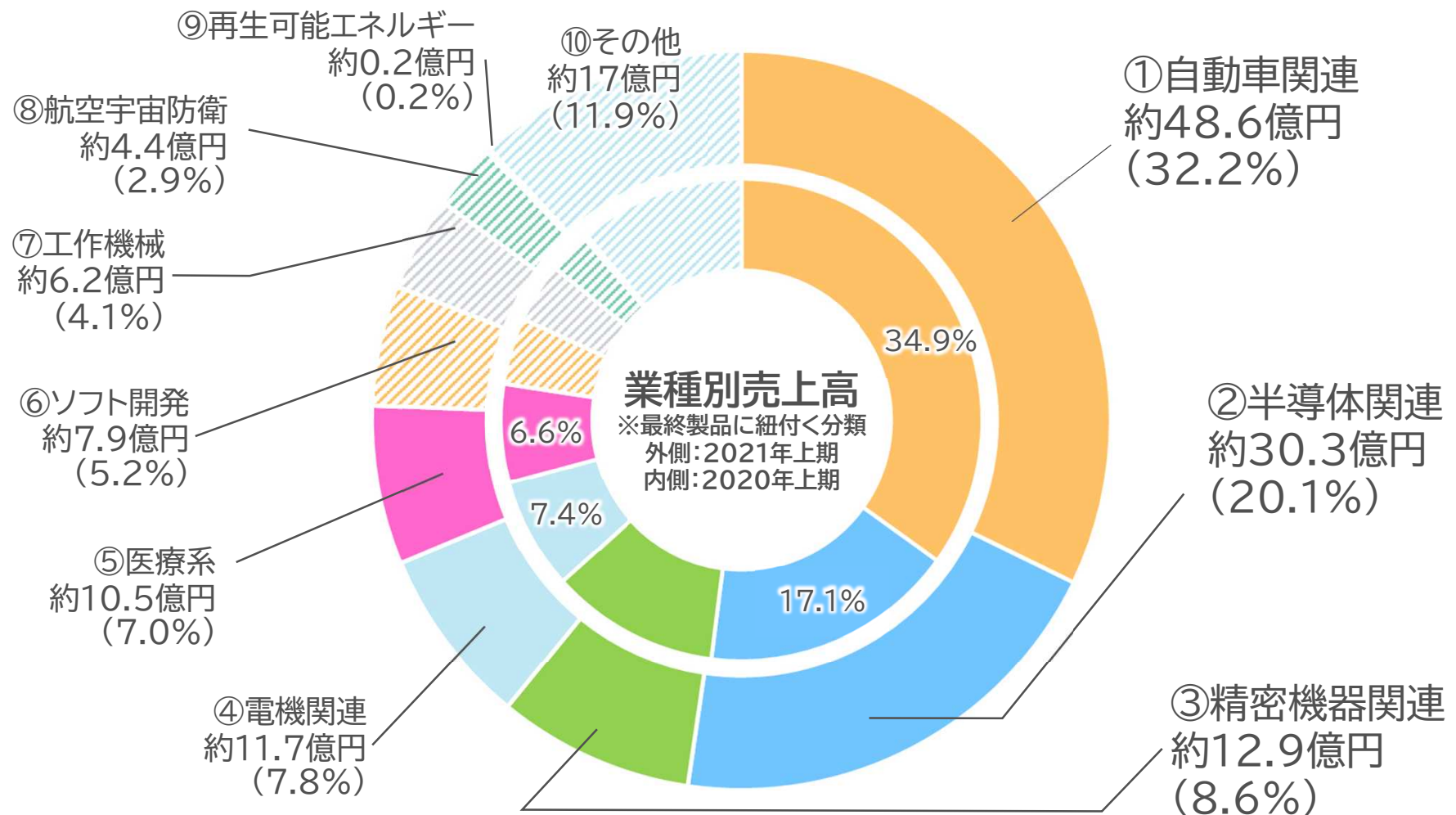
- ・人材の質をさらに重視した採用を継続
- ・稼働率は回復基調が続き、高水準を維持



- ①稼働人数…四半期ごとの稼働人数 ②技術者数…四半期毎の技術者総数 ③稼働率…新卒を含む月当たりの全社稼働率
 ④グラフ内入社数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社グローバルエンジニアは含まない)

■ 2021年第2四半期 概要 -5-

- ・半導体関連の需要は引き続き拡大
- ・電機、医療系など需要に合わせて分野をシフト



■ 2021年第2四半期 概要 -6-

・売上上位10社

2019年度 通期	2020年度 通期	2021年度 第2四半期
三菱電機	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
キオクシア	三菱電機	キオクシア
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	キオクシア	三菱電機
アイシン・エイ・ダブリュ	東京エレクトロン宮城	ニコン
日立オートモティブシステムズ	ソニーセミコンダクタ	東京エレクトロン宮城
ソニーセミコンダクタ	ニコン	ソニーセミコンダクタ
東京エレクトロン宮城	ソニーLSIデザイン	日立Astemo
キャノン	デンソーテン	東芝エネルギーシステムズ
本田技術研究所	東芝エネルギーシステムズ	デンソーテン
デンソーテン	三菱重工業	ソニーLSIデザイン
上位10社比率 19.6%	上位10社比率 18.2%	上位10社比率 21.3%

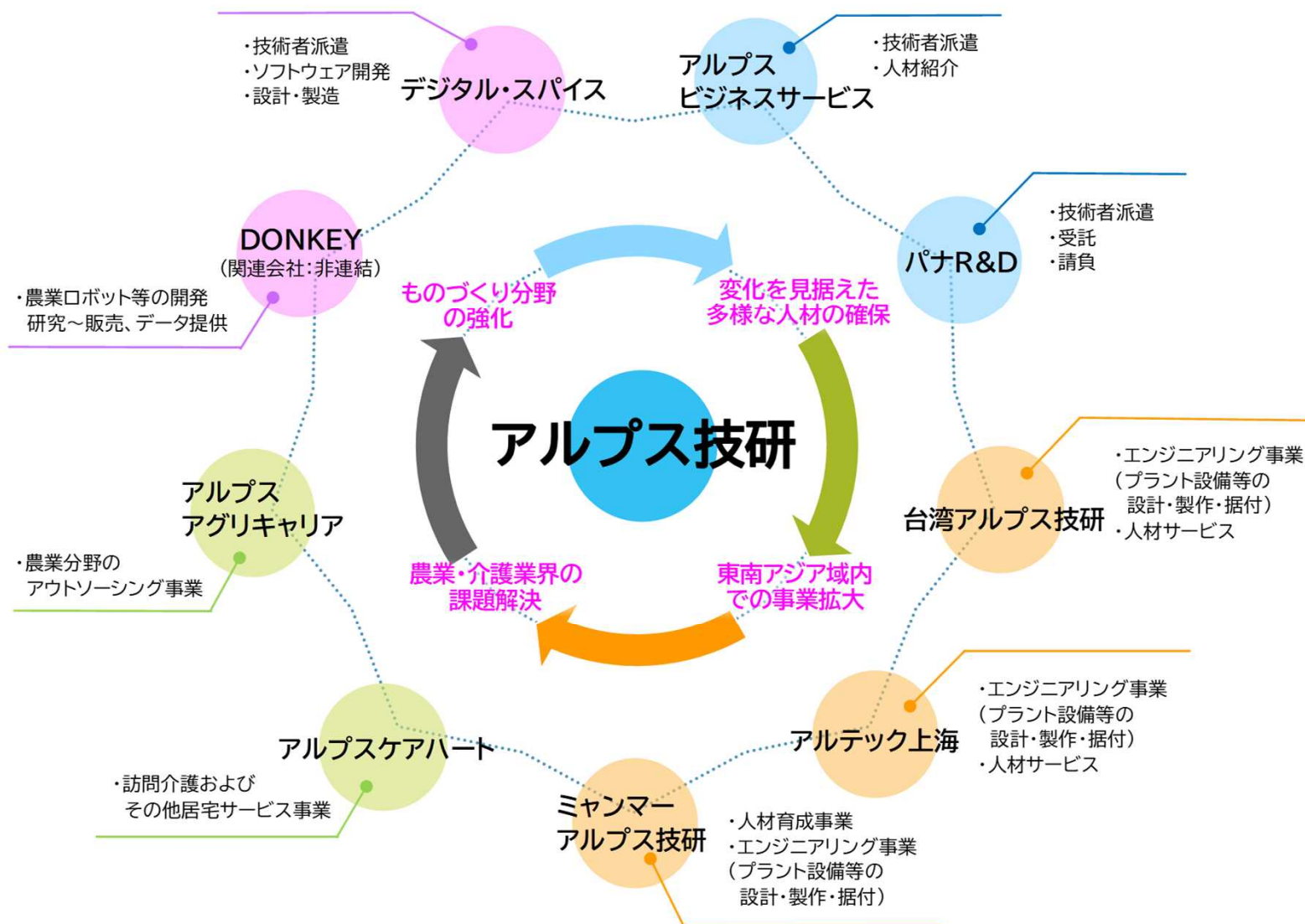
IoT/5G等の需要増加により半導体関連ニーズが堅調

※東芝グループの表記・・・東芝メモリ様は2019年通期以降、「キオクシア」様と表示

■ グループ会社・関連会社のご紹介ー連携図ー

・新たなグループ体制(くもの巣型ネットワーク組織)

新規グループ会社と既存事業との
シナジー高付加価値化



■ グループ会社・関連会社のご紹介－新会社設立－

・2021年7月1日 株式会社アルプスケアハート設立

【会社概要】

商 号	株式会社アルプスケアハート
所 在 地	神奈川県相模原市緑区西橋本1-16-18 アルプス技研 第2ビル 2階
資 本 金	1億円(アルプス技研100%出資)
設 立 日	2021年7月1日
事業開始日	2021年10月1日(予定)

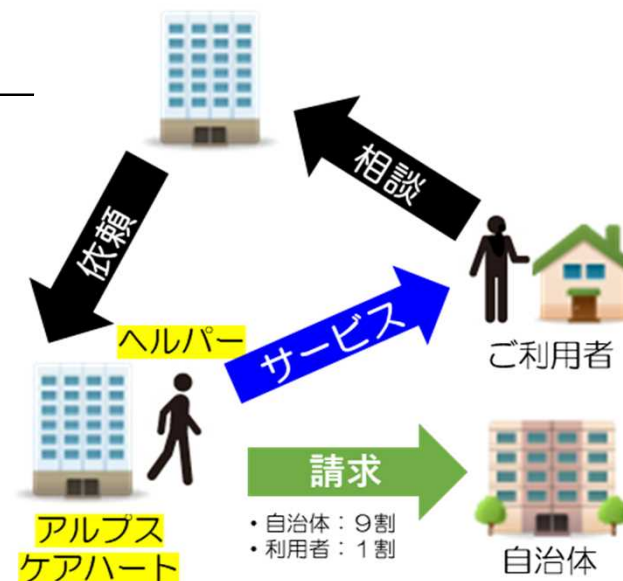
介護を新しく
生活をあなたらしく



「訪問介護」サービスを相模原市から開始し、神奈川県、首都圏、そして全国へと事業所を展開。

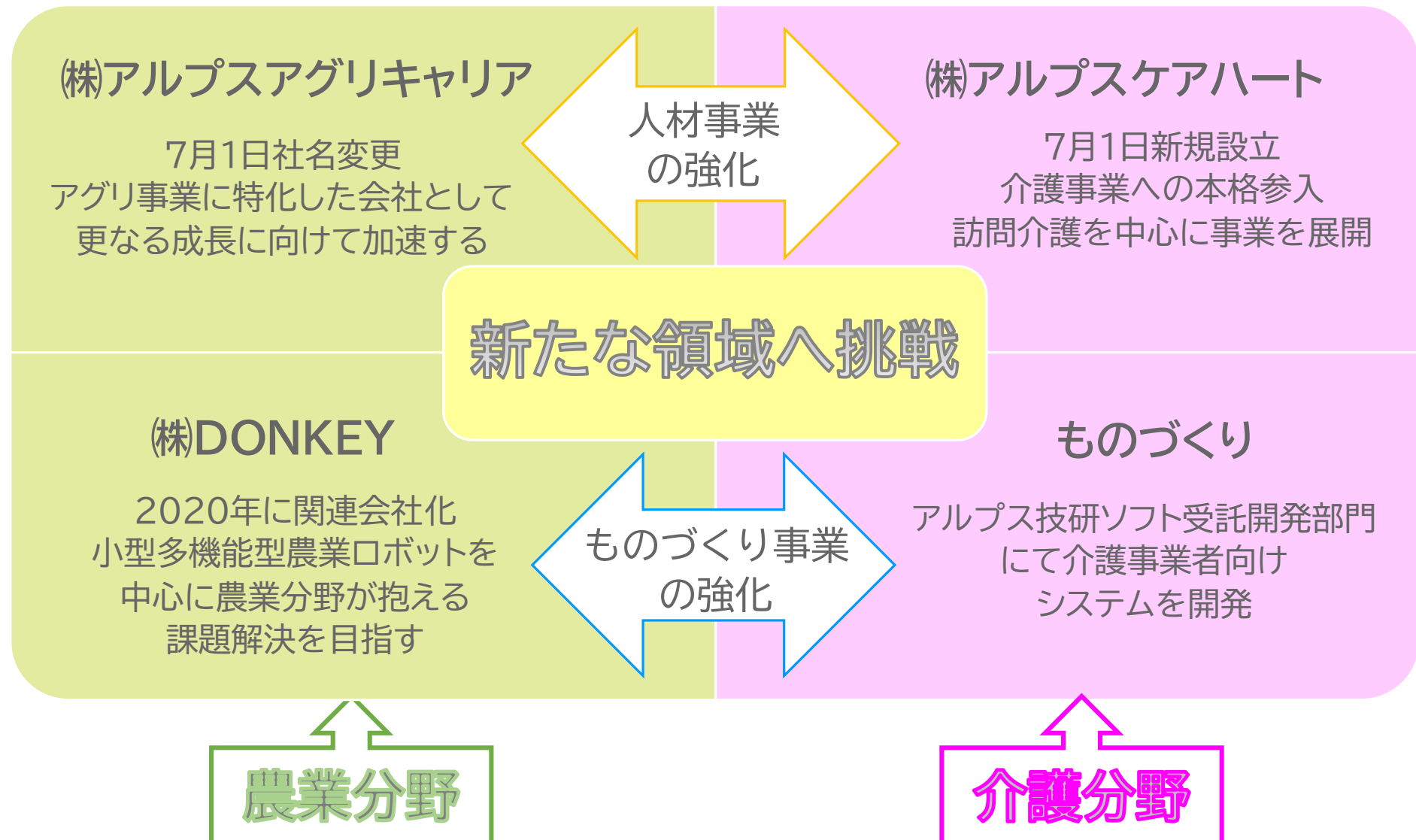
◇訪問介護とは◇
ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴・食事・排泄などの身体介護や調理・洗濯・掃除などの生活援助サービスを提供するもの。

居宅介護支援事務所



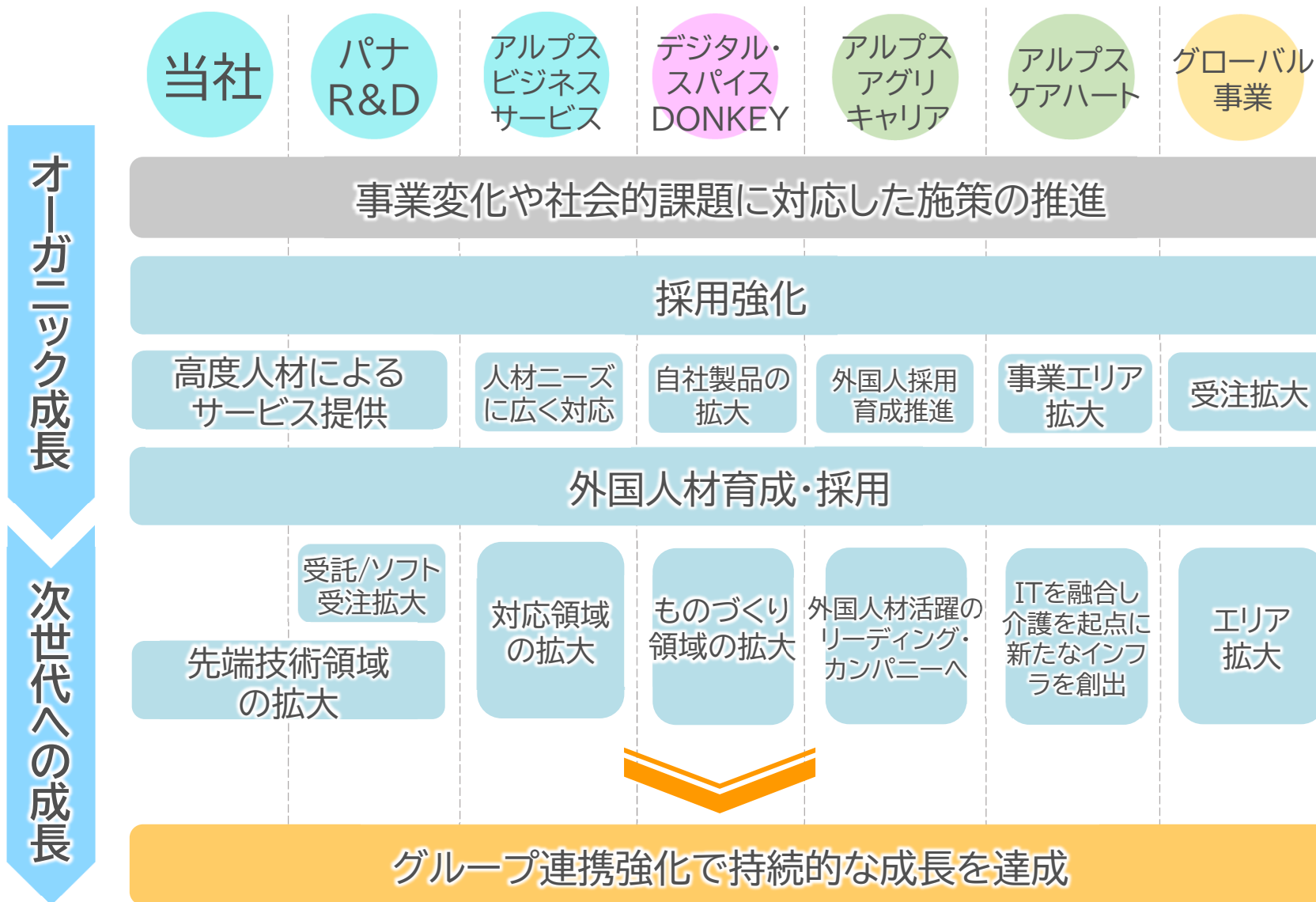
■ 技術・農業・介護分野への取り組み

・グループ間でシナジーを共有し、新たな領域へ挑戦



2021年度施策 -1-

・次世代を創る施策



■ 2021年度施策 -2-

・次世代を創る施策(個別)

成長を支える3本柱
〔採用・教育・営業〕の好循環

採用

- ①オンライン採用などの新たな採用チャンネルの構築
- ②社員紹介制度を強化し、即戦力の獲得
- ③海外拠点での教育と採用候補地の開拓

達成目標

- ‘22新卒300名採用
- ‘21キャリア120名採用

教育

- ①オンライン講座の充実
- ②先端技術・成長分野の高度人材教育
- ③顧客ニーズに対応した技術研修

ニューノーマルに
適応した人材教育

営業

- ①成長企業・成長分野との取引拡大
- ②技術者同士の連携を強化し、チーム採用の提案
- ③提案からクロージングまでのスピードアップ

成長企業・成長分野
との取引拡大による
高単価の実現

■ 2021年度施策 -3-

・中長期成長ビジョン



■ 2021年度業績予想

・連結：最高業績更新へ

利益予想： 先端技術や次世代車等、顧客ニーズは堅調のため、本業は底堅く推移する見込み。
 一方、景気の減速懸念を踏まえ、工数については抑制傾向で想定。

【連結】	実績			業績予想	
	2020年度通期			2021年度通期	
	2020年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	38,320	35,753	93.3%	40,000	11.9%
営業利益	4,270	3,640	85.2%	4,000	9.9%
経常利益	4,270	4,595	107.6%	4,400	△4.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,910	3,057	105.1%	3,060	0.1%

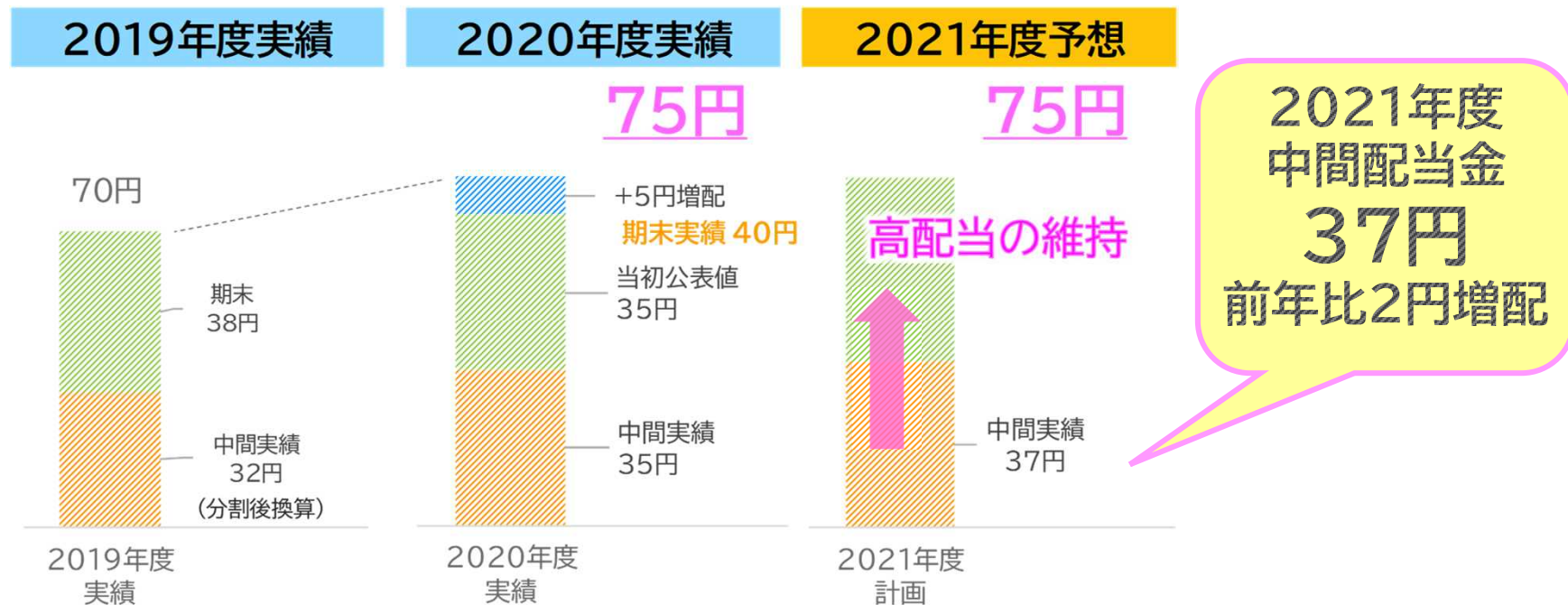
【個別】	実績			業績予想	
	2020年度通期			2021年度通期	
	2020年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	31,630	29,630	93.7%	31,600	6.6%
営業利益	3,710	3,312	89.3%	3,500	5.7%
経常利益	3,920	4,172	106.4%	4,100	△1.7%
当期純利益	2,730	2,838	104.0%	2,850	0.4%

2021年度配当予想

・配当予想（2021年度年間配当金）

配当の基本方針

- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)

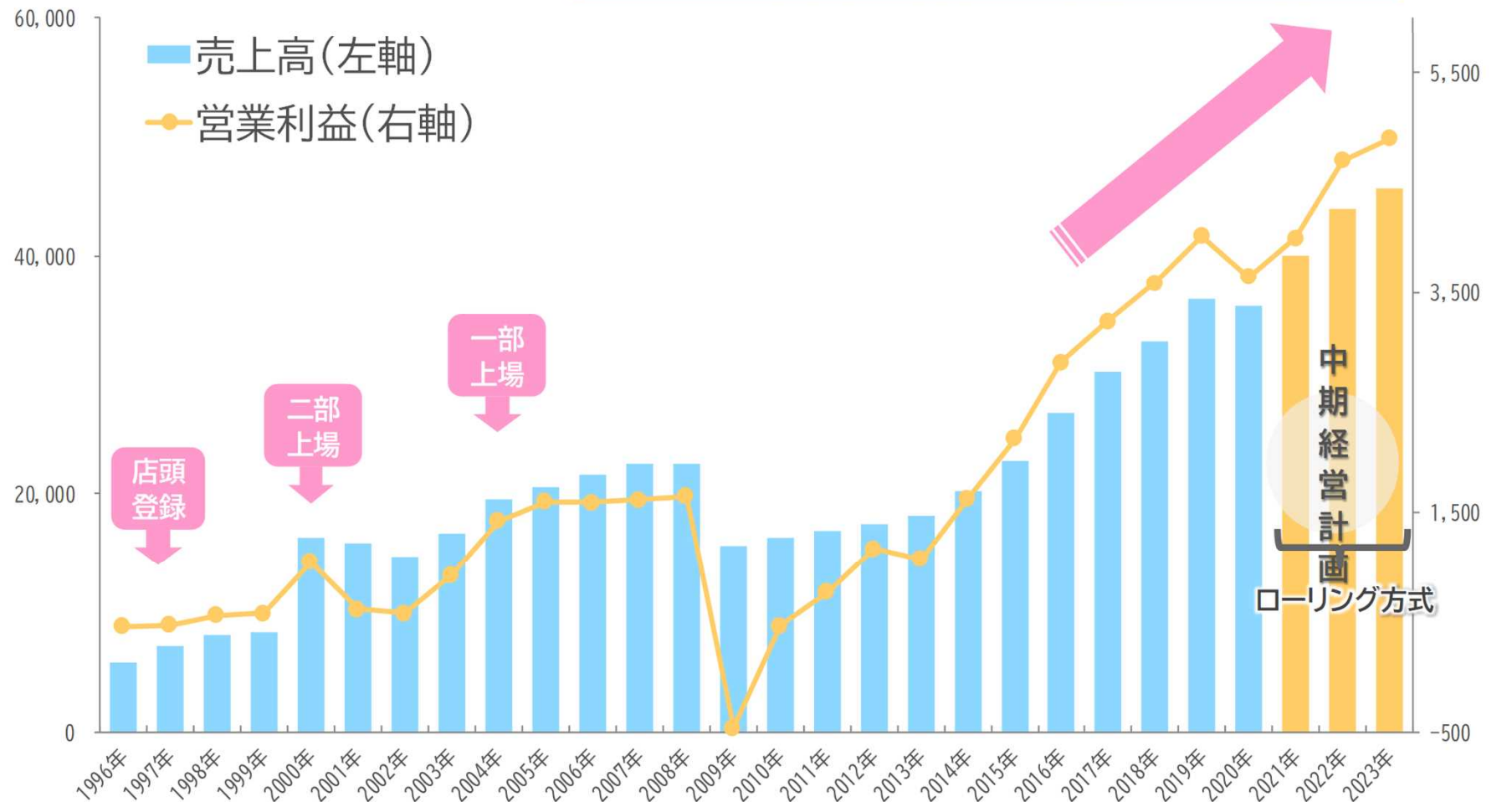


分割…2019年7月1日を効力発生日とし、1株を1.1株とする株式分割を実施

■ 新中期経営計画 -1-

・業績推移

2021年度目標売上高:400億円



※1996年～1999年は個別業績

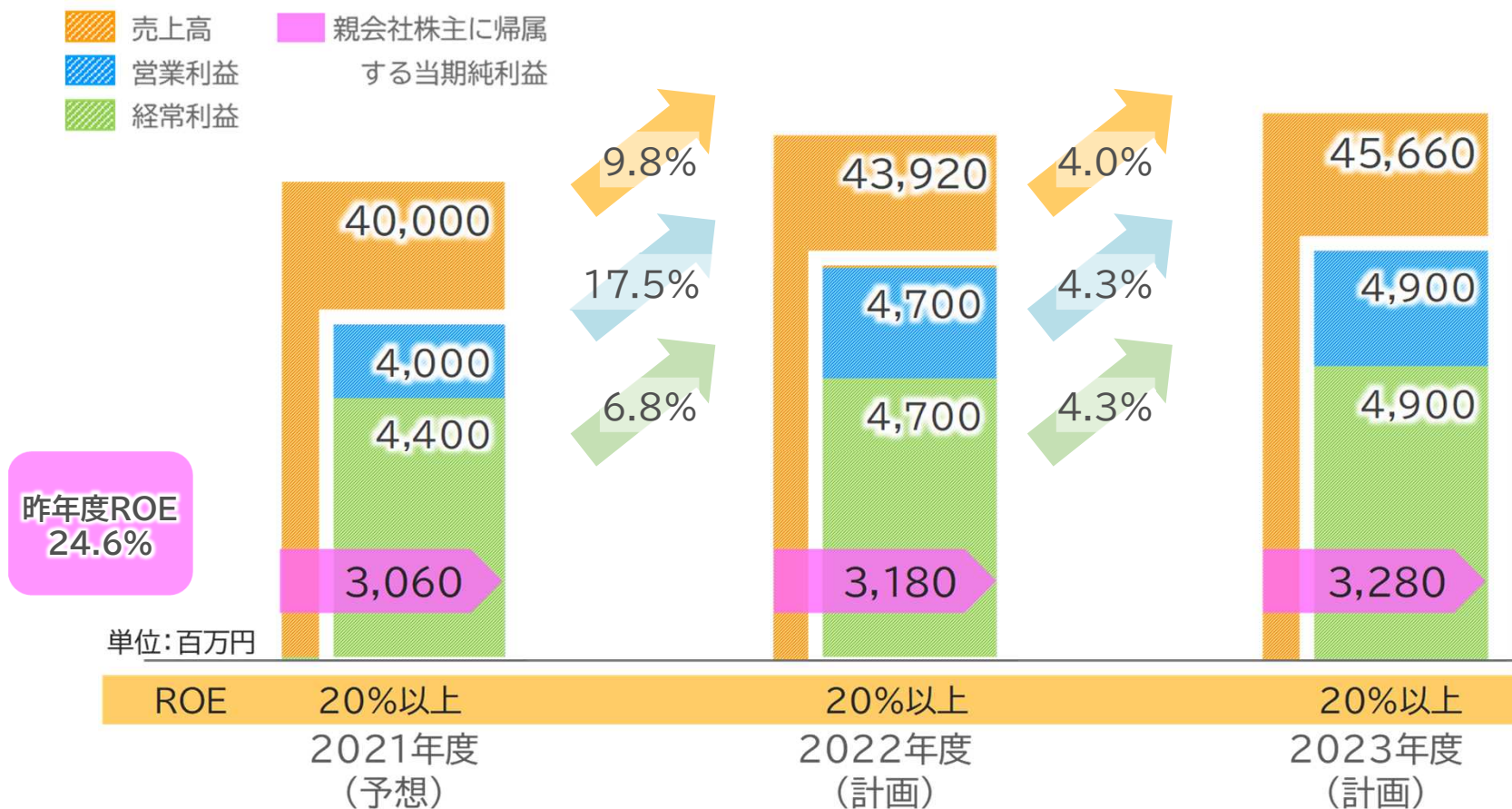
※2000年以降は連結業績

(単位:百万円)

■ 新中期経営計画 -2-

・3カ年ごとのローリングプランを策定

持続的なイノベーション



※定量目標は第11次5カ年計画に基づき内容更新

■ 新中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

①アウトソーシング 市場における 持続可能な競争優 位性の創出

- ・ドメイン再構築による
売り上げ拡大と収益力
向上
- ・グループ連携による多
様な採用活動の拡大
- ・グローバル人材の雇用
拡大・育成強化
- ・他社と差別化された企
業ブランディング実行

②投資の拡大による 成長の加速と 収益基盤の強化

- ・農業・介護分野におけ
る新たな市場創出
- ・次世代技術を軸とした
資本・業務提携推進

③事業環境の変化 に対応した人材育成 と組織の最適化

- ・ITシステム投資にて高
水準の業務効率実現
- ・シニアや女性、障がい
者が活躍する環境整備
- ・技術と経営視点を持っ
た未来志向の人材教育

■ サステナビリティ・ESGの取り組み -1-

・サステナビリティ:持続可能性

ALPS x SDGs

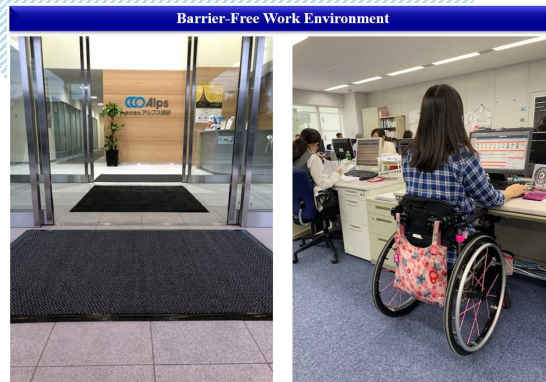
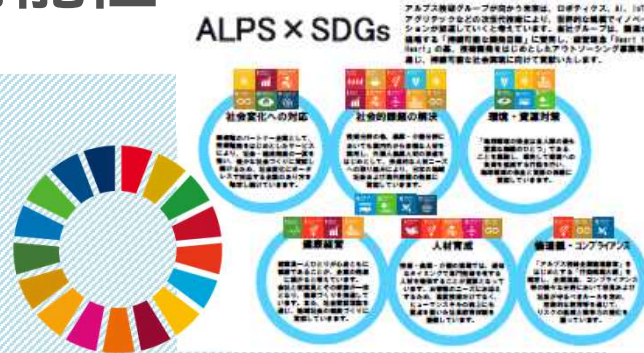
SDGs推進企業として
外務省HPに記載

ダイバーシティ

大勢の外国人社員が 活き活きと活躍

バリアフリー

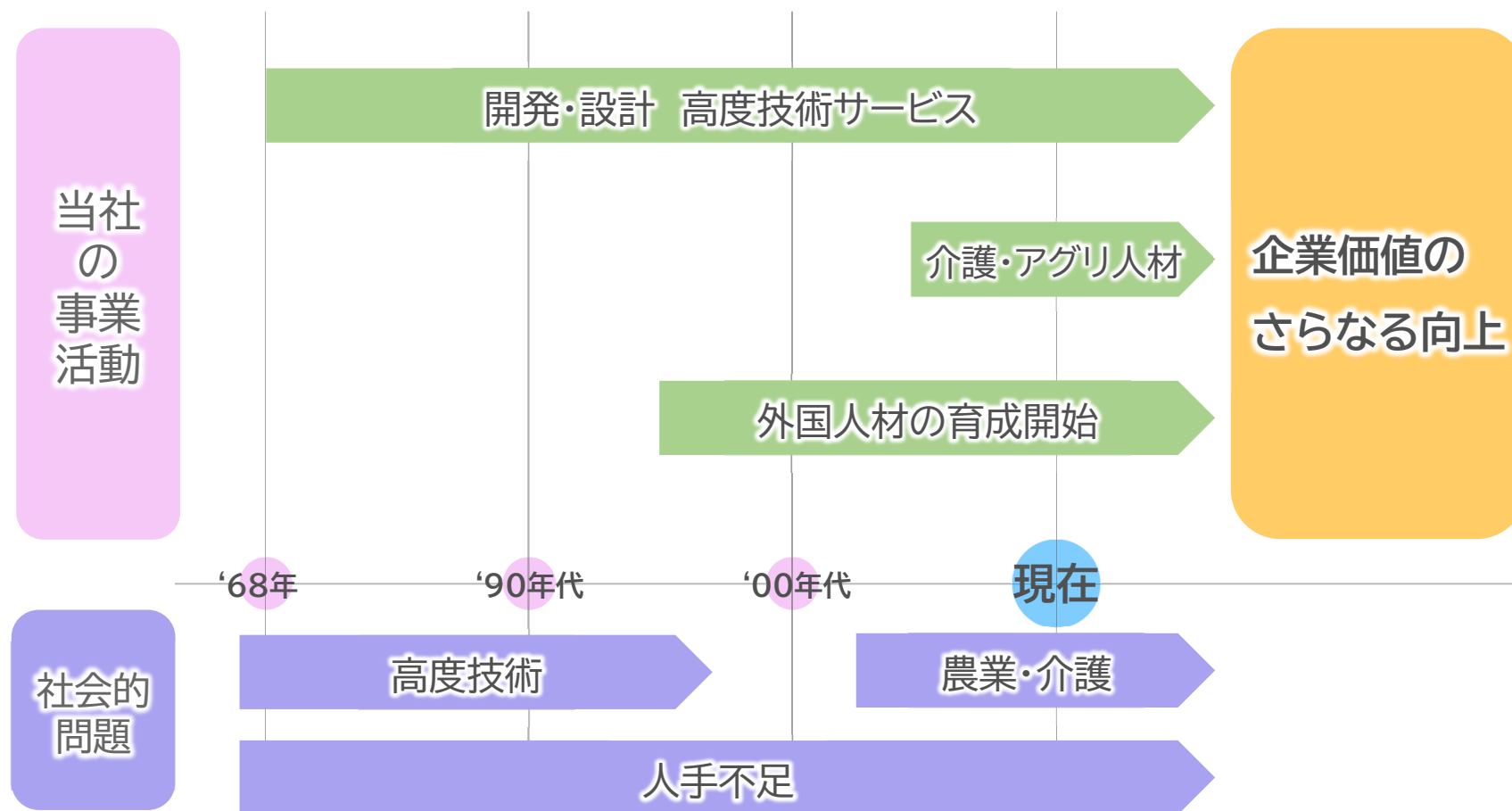
2021年パラリンピック に向けバリアフリープロ ジェクトに協賛



■ サステナビリティ・ESGの取り組み -2-

・ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決

時代に先駆けたグローバル人材の活躍推進





人が未来—Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

アルプス技研は引き続き、積極的に株主還元の充実を図ってまいります。



当社公式キャラクター
アルスくん

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。